



日本大学
国際関係学部
校友会夕報

第 50 号

静岡県三島市文教町 2-31-145
日本大学国際関係学部
校友会

令和元年度

常任幹事会・幹事会開催

○常任幹事会
令和元年六月一日（土）一六時三
〇分から、国際関係学部本校会議室
十五号館五階で開催された。横山雅人
会長挨拶の後、幹事会進行により議事に
移り、幹事会提案事項の内容について検
討審議された。

さ続き開催する計画であり、実行委員会を設置したい。委員会構成メンバーは別紙委員名簿とした旨の提案がなされた。

富桜祭物産展実行委員会に関する件については田中由雄幹事長から令和元年月二十六日、二十七日の両日開催される第六回富桜祭に交友会主催による他、元時差 審等の

三島キャンパス全景

○幹事会 令和元年六月一日（土）二七時五分から、常任幹事会に引き続いて幹事会が開催された。関野幹鷹常任幹事の司会で進行され、横山雅人会長から正会員加入の促進の説明と銀杏並木清掃作業のボスターとチラシ印刷報告の後、議長団・書記が選出されれた。議長には鈴木允常任幹事、副議長には日吉智常任幹事、書記には高梨いつみ幹事がそれぞれ選出され、次の議事が審議された。

平成三十年度事業報告 平成三十年度決算報告

監査報告 令和元年度事業計画（案）
令和元年度予算（案）

就職合同面接会実行委員に関する件
富桜祭物産展実行委員に関する件
ホーリカミングデー実行委員に関する件

国際関係学部校友会関係物故者について
国際関係学部校友会役員の正会員加入状況について
功労者表彰に関する件

一 その他の

田中由雄幹事長から、平成三十年度事業報告引き続き塙谷典子会計担当から平成三十年度事業報告が報告され、藤本文彦会計監査から監査報告があり、それぞれ承認された。

続いて令和元年度事業計画（案）については田中由雄幹事長から及び令和元年度収支予算案について塙谷典子会計担当から提案説明がなされ、審議の結果二議案とも承認された。

令和元年度校友会新役員については桜栄会会长野中美香氏の任期満了に伴い後任平澤佳代子氏となつた。また、卒業に当たり校友会会长賞及び優秀賞を授与された者並びに各同窓会から推薦された者で国際関係学部九名・桜栄会四名が新幹事として、事務局から推薦があり承認された。

就職合同面接会実行委員会に関する件について短期大学部平成二年生の卒業予定者対象としたした。昨年面接会を平成二十三年八月三日に第十九回目の合同面接会を開催し二十七社の参加企業・十七名の参加学生で二名の内定者があつた旨の報告があり。本年度も引

頼があった。会員に登録していくべきだ旨の依頼があつた。功労者表彰に関する件については田中由雄幹事長から岩崎雄參與が今年度八十才を迎える功労者表彰の対象者となる旨の報告があつた。その他としては田中由雄幹事長から、毎月第四日曜日午前九時から一時間程度ボランティア活動の一環として本校舍西側歩道両側の清掃作業を実施するので会員皆様の参加協力をお願いしたい旨の報告があつた。会報(第五十号)発行について例年とのおり学部から学部長・事務局長・校友会から会長・副会長二名・常任幹事二名及び顧問・参与から一名の方にお願いします。在校生で校友会優秀賞授与者の個人四名と各学生団体三名の委員長に原稿を依頼した旨の報告がなされた。

「第五十号に寄せて」



国際関係学部校友会会長

横山雅人

校友の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は国際関係学部校友会の活動に対しご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

世界水泳選手権二〇一九が韓国で開催されていて、連日、日本選手の活躍が伝えられます。今年四月に池江璃花子選手が日本大学に進学しました。今大会に池江選手の姿が見られないので残念ですが、一日も早い復帰を心より願っています。

この会報も今回で節目の第五十号を迎えました。調べてみると第一号は昭和四十六年八月一日に日本大学三島同窓会が発行しています。

表紙には新築された本館の写真と、今までの事務所建物を記念館として移築し完成したという記事が掲載されています。

(会報は国際関係学部校友会ホームページの会報バックナンバーからご覧になります。)この記念館は今でもキャンパスの東

端にあり、老朽化が進み残念ながら立ち入り禁止となっていますが、歴史を今に伝えています。

編集後記に

・日本大学三島同窓会会報、ようやく発刊、学園すでに二十五周年を迎えるとす。

・春の桜の入学式、秋の銀杏の大学祭を目標に年二回発行の予定。

・学園の現況、同窓生の消息、教職員の近況同窓会の報告を主に編集、楽しき会報へ。

・同窓生の住所、氏名、卒業期、現況をお知らせを乞う。早い人は二世が大学に学ぶ。

と書かれています。大先輩方の想いがとても伝わってきます。

校友の皆様に近況を報告して母校に帰属意識を持つてもらい、楽しい会にして行きたいという想いは今も受け継がれています。

現況のお知らせは今、ホームページから連絡できるようになっています。会報は一〇〇号

りますが、先輩方の想いはそのままに、より楽しく充実した内容にして行きたいと思っております。今後もご協力をよろしくお願いいたします。

一つ、活動報告をさせていただきます。三年前に始めた学校の清掃活動も五月で四年目にに入りました。最近では日大三島高校生徒会の生徒も毎回参加してくれています。もっと仲間に宣伝するためのツールがほしい

という声に応えて清掃活動のポスター、チラシを作成しました。デザインは高校の美術部の生徒に依頼、協力をお願いし、何点かいただいたデザインの中から一点を選び採用させていただき

ました。ポスターの写真を掲載しますのでご覧ください。この活動の目的は二つあります。一つは地域貢献、もう一つは校友が繋がり、親交を深めることです。多くの方の参加をお待ちしております。

最後になりますが、皆様のご健勝、ご活躍を祈念し、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



「校友会会報 挨拶」

国際関係学部学部長

渡邊 武一郎



平素は校友の方々に様々な形

でのご支援、ご協力いただきまして衷心より感謝申し上げます。

今年度は、国際関係学部に六九一名、更には、三島高等学校に五七名、短期大学部ビジネス教養学科

三島キャンパス全体で一、五一七名の新入生を迎えることが出来ました。全ての生徒、学生、大学院生を合わせると、三島キャンパスでは約五、〇〇〇人が学んでおり、静岡県東部地域においては大きな存在感を示しています。

国際関係学部では四年前に導入した新カリキュラムも本年度で完成年度を迎えます。六つのコース(国際関係、国際ビジネス、グローバルスタディ、グローバル観光、国際文化、国際コミュニケーション)から、各自的興味関心、将来の夢をもとに自分でコース選択をし、四年間学んできた皆さん、これからどのような進路に進まれるか楽しみです。

また、スタッフでは、今年度は国際関係学部に観光学の矢嶋敏朗先生、中東研究の小副川琢先生、Japan StudiesのP・マルティネス先生と陳怡楨先生、国際関係学の菅野先生、スポーツ科学の加藤秀治先生をお迎えしました。また、短期大学部ビジネス教養学科にはS・ドレイジ先生、食物栄養学科には柿崎博美先生に加わっていただきました。

本年、国際関係学部は創設四十周年を、短期大学部食物栄養学科は創設六十周年を迎えます。そして、十月四日には我が日本大学は創立一三〇周年を迎えます。この

輝かしい歴史と伝統を誇りつつ、これからも「日に日に新たに」の精神で、「日本一教育力のある大學」の一躍を担うべく、学生生徒の教育活動に邁進する所存であります。校友の皆様方に於かれましては、今後も引き続きご支援、

ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、日本大学校友会の益々のご発展、会員の皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

「ご挨拶」



国際関係学部事務局長

岡本敬史

日本大学国際関係学部校友会の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと心よりお慶び申しあげます。また、校友会の皆様方には、私ども国際関係学部短期大学部（三島校舎）に対する平素のご支援・ご協力に深く感謝申し上げるとともに厚くお礼申し上げます。

さて、私は、二〇一九年の事務始めにおいて、国際関係学部・短期大学部（三島校舎）のキーワードとして「変化」という言葉を掲げました。では何を「変える」あるいは何が「変わる」のかについては、主なものを述べさせていただきます。

一つ目は、「ご父母との絆をさらに深める」です。今までご父母

の方々との接点といえば毎年四月の開講式くらいしかありませんでした。そこで本年度は学校とご父母との絆をさらに深めるため、機会あるごとに様々な情報を発信できるようメーリングリストなどを整備する予定です。二つ目は、「開かれた大学を目指す」で

ことになります。本年度は東門を終日開放することにいたしましたので、近隣住民の方々にも気軽にキャンパス内に足を運んでいただいております。また、学校でのイベントや食堂の情報等を回覧板などで周知するなど近隣の方ともさらに友達として「変化」という言葉を掲げました。

これまでの如きは、主なものをお伝えしてまいります。

三つ目は、「キャンパスの整備と活性化」です。昼食時の食堂の混雑解消のため理工学部

島校舎は、これからも皆さまか

建築学科とのコラボレーションにより桜アリーナ前に飲食などにも利用できるスペース（虹のシザース一号機、二号機）を設置いたしました。また十三号館一階の教室一室を学生のためのレクリエーションルームとして開放し、卓球台やボードゲームなどを設置いたしました。さらに学生達の要望もあり、十二月にはクリスマスイルミネーション点灯式を予定しております。四つ目は、学生・生徒教職員の安心・安全をはかるため「新図書館及び管理棟の建設計画の申請」です。旧四号館跡地に老朽化した図書館及び本館の代替施設を新しく建設するため、本年度の重要整備計画として法人本部に申請いたします。鉄筋コンクリート造五階建の建物（延床面積 約七千四百平米）で、現在申請準備を着々と進めております。順調にいけば五、六年先には完成する見込みです。五つ目は、「収入を得る方策を考える」です。

三島駅北口校舎の駐車場はすでに有料化されておりますが、さらに本年度からは、本校舎内の駐車場の有料化を検討いたします。今後、入学生的受入れが入学定員の一・〇倍となる状況を踏まえ、経費の節約は勿論ですが、学内施設の学外への積極的貸し出しや本校舎内の遊休地を活用して収入を得る方策を進めてまいります。

この会報（当時は、日本大学三島同窓会報）の創刊時には、私は高3年生（日本大学三島高等学校）でした。その頃は、今日のような日大愛・母校愛はそれ程ではありませんでした。

しかし、今では大きなものと成ります。

入学当初は、私の学園生活はございませんか。

ら信頼を得られるような教育機関を目指し、教職員が一丸となつて進んでまいります。校友会の皆様には今後とも一層のご理解とお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「会報五十号の発刊に思う」



国際関係学部校友会副会長

江本博勝

日本大学国際関係学部校友会

の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと心よりお慶び申しあげます。また、校友会の皆様方には、私ども国際関係学部短期大学部（三島校舎）に対する平素のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

この方々との接点といえれば毎年四月の開講式くらいしかありませんでした。そこで本年度は学校とご父母との絆をさらに深めるため、機会あるごとに様々な情報を発信できるようメーリングリストなどを整備する予定です。二つ目は、「開かれた大学を目指す」で

ことになります。

三島駅北口校舎の駐車場はすでに有料化されておりますが、さらに本年度からは、本校舎内の駐車

場の有料化を検討いたします。

今後、入学生的受入れが入学定員の一・〇倍となる状況を踏まえ、経費の節約は勿論ですが、学内施設の学外への積極的貸し出しや本校舎内の遊休地を活用して収入を得る方策を進めてまいります。

この会報（当時は、日本大学三島同窓会報）の創刊時には、私は高3年生（日本大学三島高等学校）でした。

その頃は、今日のような日大愛・

母校愛はそれ程ではありませんでした。

しかし、今では大きなものと成ります。

入学当初は、私の学園生活はございませんか。

未筆になりましたが、国際関係学部校友会の益々のご発展と校友の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

く普通のものでした。

それが「コンピュータ研究会」に入部した事で、大学祭ではクラブの連合体の学友会に所属し、管財部長と言う役職につき、その時に出会った多くの実行委員会の仲間達と苦楽を共にし、大学祭（第二十二回）開催に漕ぎ着ける事が出来ました。

その延長線上の繋がりの中で今でも深い親交が続いております。

ここ三島キャンパスでの経験は、私の「人間力」に大きな影響をもたらしたと言つても過言では有りません。

学生生活において、長く付き合える友人を作る事も大切な一つだと私は考えます。

校友の皆様銀杏並木は三島学園のシンボルです。学園通りの銀杏並木を歩きながらお互いに青春の一時期を過ごした学園に足を運んでみていかがですか。きっと貴方だけの新たな思い出が甦つてくるかもしれませんよ。

最後に、この役職（副会長）を任せられました事の責任を感じると共に、皆様の期待に添えるよう全力を尽くす所存でございます。会報五十号と言う大きな「くぎり」を通過点に母校のさらなる飛躍と日本大学国際関係学部「校友会」の益々の発展を祈念しますと共に、いつそうのお引き立てを賜りますよう宜しくお願ひ致します。

校友の皆様銀杏並木は三島学生生活において、長く付き合える友人を作る事も大切な一つだと私は考えます。

校友の皆様銀杏並木は三島学園のシンボルです。学園通りの銀杏並木を歩きながらお互いに青春の一時期を過ごした学園に足を運んでみていかがですか。きっと貴方だけの新たな思い出が甦つてくるかもしれませんよ。

最後に、この役職（副会長）を任

せられました事の責任を感じる

と共に、皆様の期待に添えるよう

全力を尽くす所存でございます。

会報五十号と言つた大好きな

くぎりを通過点に母校のさらなる飛

躍と日本大学国際関係学部「校友

会」の益々の発展を祈念しますと

共に、いつそうのお引き立てを賜

りますよう宜しくお願ひ致しま

す。思い出の一つ、神戸出身の友人とは、夏の甲子園大会・六甲山からの夜景を案内してもらつたり

「今は昔」という言葉がある。石造りの校門を後にしてから、四五星霜の時間が過ぎていきました。

その歴史の中には数多くの思

い出が刻まれています。在学当時

は学生運動時代の余波が残つて

おり、校内にも統一された色のヘ

ルメットをかぶつた集団が隊列

を組んで行進していた光景も忘

れ難い思い出であります。

現在の校内は学部学科の組織再編もあり校内の景色も大きく

様変わりしました。当時は、校門

を入り右手には四号館がありま

した。

四号館から仰ぐ靈峰富士の眺めは威容であり、春には桜花が爛漫と咲き乱れ、新緑の季節になると多彩な緑が映える学び舎でした。

先述の学生デモも四号館から見えた光景でした。

一九六四年（昭和三十九年）東京オリンピックが開催されました。

周辺は建築ラッシュ。建築に興味を持ち始め工業高校で建築を学び、日本大学短期大学部工科建築科で学ぶ事に。当時は一年四クラスの多人数でした。それまでは県内の友人だけだったが一気に遠方より来た学生で溢れかえりました。思い出の一つ、神戸出身の友人とは、夏の甲子園大会・六甲山からの夜景を案内してもらつたり

ます。

その限られた時間の中で光り輝かせていく自身を作る一つが資格ではないかと思います。益々これから資格はご自身のツールになつていきます。

皆さん

の活躍を期待しております。

「今昔物語」



国際関係学部校友会常任幹事

瀬川 宏

「日々新たなる三島」



国際関係学部校友会常任幹事

鈴木 允

【連隊の街から文教の街へ】

国際構内の東、思索の森の奥に静かに佇む古びた白亜の洋館の存在を知ったのはつい五、六年前だつた。付属高校、一般教養に在籍した青春時代、この存在を知ることはなかつた。建物には

「陸軍第二連隊将校集会所」とあり、大正五年の建築で、百年以上のものである。元は現在の大学事務本館の場所にあり、日大鬪争の昭和四十年代中頃に移築されたという。ここはかつて、この一帯が四千有余の人馬が駐屯する連隊の街を偲ぶ数少ない文化財であることを教えてくれる。

戦後、三島は文教の街に変貌とげ、戦前を偲ぶ遺構は本学南側北中正門（かつて三島予科正門）西側の北幼稚園前の哨舍（門衛）跡が残存するのみ。私は学生時代、この前に立つ歩哨兵の幻影をよく見たものである。

【現代の三島繁栄の基】
三島といえば馬鈴薯、それを活用したこと、その資格を必要とする職場においては貴重な人材として迎え入れてくれると思います。一生の

かした三島コロッケ、箱根西麓野菜等、農産物において、品質、味共に極上の評価を得ているのはこの連隊の街の残してくれた馬糞、人糞など有機栽培のリサイクルが基となつてゐる。又、現在の三島の発展はこの連隊による衣食住の経済効果の遺産の賜物といえるのである。

【富士山からの湧水の恵み】
樂寿園正門向かいに白滝湧水がサラサラ流れ出る。その脇に水辺の文学碑がある。松尾芭蕉、正岡子規、若山牧水、司馬遼太郎、大宰治等、三島を謳歌した文豪達の碑である。その中で大宰は、この湧水を「水量たっぷりの澄んだ小川がそれこそ蜘蛛の巣のよう縱横無尽に残る隈なく駆けめぐり清冽の流れ」（昭和十五年発表）老ハイデルベルヒと残している。

この湧水にて泳がせた、全國有名な三島鰻は、滾々と湧き出る大自然からの恵みを受け、正に絶品の味である。

内、働く時間には限りがあります。その限られた時間の中で光り輝かせていく自身を作る一つが資格ではないかと思います。益々資格ではないかと思います。益々これから資格はご自身のツールが姿を現しています。心をときめかせながら平和の祭典を楽しみたいと思います。

【遙かな昔ナウマンゾウのいた三島】

三島の歴史は二万七、八千年
前の旧石器時代の遺跡から窺が
われる。縄文、弥生、古墳時代以降、
頼朝が駆け巡った曠野は、今や静
岡県東部屈指の重要都市として
役割を担っている。国際十五号館
六階のパノラマラウンジに上つ
て見る。東に箱根連山、北に靈峰
富士、西に駿河湾、南に伊豆の
山々。東名沼津インターから延び
る伊豆縦貫道、大吊り橋スカイ
ウォークが眼下にある。白滝公園、
ホタル舞うせせらぎの源兵衛川、



「生涯勉強・生涯現役」

国際関係学部校友会参与

岩崎一雄

この度は、日本大学国際関係学部校友会報五十号発行を迎えたことを心よりお祝い申し上げます。又、日頃より校友会の運営に携わっておられます役員の皆様に心から感謝申し上げます。

甲斐あり、昭和四十四年に卒業することができ、昭和四十八年に税理士登録、同年四月に「岩崎一雄税理士事務所」を開業することができます。私の時代には大学に行くことができる人が限られていました中で、大学に行かせていただき無事卒業できることに、とても感謝しています。

卒業後は、時間が許す限り校友

ととなりました。

日本大学国際関係学部に進

学し、本部のゴルフ部に所属して

から、早三年目に突入致しました。

昨年は五月に岐阜関カントリー

俱楽部の東コースにて開催され

ました中部アマチュアゴルフ選

手権で優勝したのを皮切りに六

月の愛知県アマチュアゴルフ選

手権でも優勝する事が出来まし

た。昨シーザンにおいて、私が最

も忘れられない試合が、第八十三

回日本オープンゴルフ選手権で

あります。本大会は、一昨年の文

部科学大臣杯で私が優勝致しま

した横浜カントリークラブにて

開催されました。その為、私は同

コースで行われた日本オーブン

の試合での上位争いに大きな期

待を寄せていました。また、同競

技は私の出場する日本のプロの

初めての試合でもあった為、大変

思ひ入れの強い試合でもありました。

四日間競技の最終結果は三

三位でしたが、二日目の競技を

終えて八アンダーで単独首位に

なった事は、私の競技人生の中で

忘れない経験となりました。

キヤディーを勤めたのは寮生活

で同部屋の学生で、彼の献身的な

サポートもあつたおかげで、そ

のよくな良い結果を出せたと考え

ております。改めて、私が周囲の

人達から支えられている事を実

感した瞬間でもありました。

私は、高校生の頃から単身で

フィリピンにゴルフ留学をして

いました。現地で培ったのは、技

術面だけではなく、周囲の人達に

どれ程支えられていたのかとい

う感謝の念を実感した良い機会

になりました。また、学生生活

においても、遠征や試合等で私が

先生の講義を欠席してしまう事

がありますが、その際、チームメ

イトが私の欠席してしまった授

業の内容をノートにまとめて、教

えてくれるなど学業の面において

ても献身的なサポートを受けて

いる事に感謝しきれません。

このように、私は、競技ゴルフ

経験をさせて頂いております。本

さんの方と出会つきつかけをい

たきました。ご商売をされてい

る校友会の皆様は、校友会に積極

的に関わって欲しいと願います。

また、商売を大きくするために

もう一つ大切なことは、学ぶこと

です。大学の間だけではなく、卒

業後、社会人となつてからもたく

さん学び、幅広い知識を身につけ

ことで、皆さん仕事やご商売

も良くなり、ひいては地域を良く

していくきっかけにもなります。

現役の大学生には、大いに遊び

つつも、たくさん学んで欲しいと

願います。専門的なことも深掘り

して学ぶ時間が取れるのは、大学

生の時期だけです。学ぶことの習

慣をしっかりと身につけ将来の目

標があれば、それに向かつて勉強

や資格取得もし、学び続けて欲し

い。

生涯勉強・生涯現役。校友の皆

様には、大いに遊び、大いに遊び

たいに人生を謳歌して欲しいと

願います。校友会の益々のご発展

を心からお祈り申し上げます。

感謝しきれません。そして、私を

ここまで育んで下さった家族に

も大変感謝しております。

職員の方々や先生方には本当に

感謝しきれません。

ここまで育んで下さった家族に

も大変感謝しております。

最後に、この感謝する気持ちを

感謝しております。今後とも競技の

みならず、学業の面においても精

進して参りますので、御支援の程、

宜しくお願いします。



校友会優秀賞受賞者

国際総合政策学科三年

桂川有人

一生懸命学んでいました。その後、甲斐あり、昭和四十四年に卒業することができ、昭和四八年に税理士登録、同年四月に「岩崎一雄税理士事務所」を開業することができます。私の時代には大学に行くことができる人が限られていました中で、大学に行かせていただき無事卒業できることに、とても感謝していました。

また、母校の教鞭を取らせていただき無事卒業できたことに、とても感謝していました。

卒業後は、時間が許す限り校友

ととなりました。

日本大学国際関係学部に進

学し、本部のゴルフ部に所属して

から、早三年目に突入致しました。

昨年は五月に岐阜関カントリー

俱楽部の東コースにて開催され

ました中部アマチュアゴルフ選

手権で優勝したのを皮切りに六

月の愛知県アマチュアゴルフ選

手権でも優勝する事が出来まし

た。昨シーザンにおいて、私が最

も忘れられない試合が、第八十三

回日本オープンゴルフ選手権で

あります。本大会は、一昨年の文

部科学大臣杯で私が優勝致しま

した横浜カントリークラブにて

開催されました。その為、私は同

コースで行われた日本オーブン

の試合での上位争いに大きな期

待を寄せていました。また、同競

技は私の出場する日本のプロの

初めての試合でもあった為、大変

思ひ入れの強い試合でもありました。

四日間競技の最終結果は三

三位でしたが、二日目の競技を

終えて八アンダーで単独首位に

なった事は、私の競技人生の中で

忘れない経験となりました。

キヤディーを勤めたのは寮生活

で同部屋の学生で、彼の献身的な

サポートもあつたおかげで、そ

のよくな良い結果を出せたと考え

ております。改めて、私が周囲の

人達から支えられている事を実

感した瞬間でもありました。

私は、高校生の頃から単身で

フィリピンにゴルフ留学をして

いました。現地で培ったのは、技

術面だけではなく、周囲の人達に

どれ程支えられていたのかとい

う感謝の念を実感した良い機会

になりました。また、学生生活

においても、遠征や試合等で私が

先生の講義を欠席してしまう事

がありますが、その際、チームメ

イトが私の欠席してしまった授

業の内容をノートにまとめて、教

えてくれるなど学業の面において

ても献身的なサポートを受けて

いる事に感謝しきれません。

このように、私は、競技ゴルフ

経験をさせて頂いております。本



星川ひな

国際総合政策学科二年

この度は、日本大学国際関係学部校友会報五十号発行を迎えたことを心よりお祝い申し上げます。又、日頃より校友会の運営に携わっておられます役員の皆様に心から感謝申し上げます。

甲斐あり、昭和四十四年に卒業することができ、昭和四八年に税理士登録、同年四月に「岩崎一雄税理士事務所」を開業することができます。私の時代には大学に行くことができる人が限られていました中で、大学に行かせていただき無事卒業できることに、とても感謝していました。

また、母校の教鞭を取らせていただき無事卒業できたことに、とても感謝していました。

卒業後は、時間が許す限り校友ととなりました。

日本大学国際関係学部に進学し、本部のゴルフ部に所属してから、早三年目に突入致しました。

昨年は五月に岐阜関カントリー俱楽部の東コースにて開催されました中部アマチュアゴルフ選

手権で優勝を果たす事ができました。

日本大学ゴルフ部という伝統

学の監督やコーチ、チームメイトを始めとする部活動に携わる方々や本学に携わっておられる職員の方々や先生方には本当に感謝しきれません。そして、私を

ここまで育んで下さった家族に

並びに大学の威信をかけた団体

戦で結果を出していきたいと考

えております。今後とも競技の

みならず、学業の面においても精

進して参りますので、御支援の程、

宜しくお願いします。

のある部活で合宿や大学の団体戦、個人戦で忙しい日々ですが、充実した生活を送ることができます。入学前に想像していたよりもスケジュールはハードで、文武両道をするということは容易なことではありませんでした。しかし、それを続けてこれた要因として仲間の支えはなくてはならないことだと思います。部員の一人ひとりがゴルフ部としての自覚を持ち行動することによって互いが良い刺激を受けながら高め合っていくことができています。その環境の中でもゴルフ面も、また、一人の人間としても成長できている、と感じられています。その環境の中でゴルフ部一人の人間としても成長できる貴重で素晴らしい時間になっています。そして、高校から親元を離れていた私にとって両親への有難味はより一層増しました。また学生生活の中でも成人を迎えることもあり、一人の大人としての自覚や責任が芽生えるようになりました。勉学と部活動の両立をし、昨年果たせなかつた団体戦での全国優勝、日本学生を優勝することを目指に成長し続けていきたいと思います。これからもご支援宜しくお願ひ致します。



国際教養学科三年
山下鉄平

私がこの日本大学国際関係学部に入学し、早くも三年目の夏を迎えていました。私は中学三年の時、路上で倒れ神経系の病気が見つかり、長年続けてきたサッカーを諦めなければならぬ状況に陥りました。文武両道をモットーに過ごしてきた私にとって、サッカーを失うことは非常に不安なものでした。そんな時に出会ったのが、現在もなお続いているフリースタイルフットボールです。

サッカーのリフティングの技で競うその姿を見て、「これならできる」という考えが私の中に生まれました。あまり知られておらず、競技人口も決して多いとは言えません。一度は挫折を味わったものの、結果を掴み取りました。それまでの努力が報われた瞬間で、「やつてやつたぞ」という気持ちが強かったです。

一度は挫折を味わったものの、結果を掴み取りました。それまでの努力が報われた瞬間で、「やつてやつたぞ」という気持ちが強かったです。私がフリースタイルフットボールを通じて学ぶことができたのは「人との繋がり」と「人間のみ作り出せる感動」です。多くの人がから多くの事を学び、様々な人と触れ合うことで私は成長してきました。今後も人の感性に語りかけられるようなパフォーマンスを披露し、フリースタイルフットボールの普及にも力を入れていきたいと考えています。

クールでの指導依頼などを数多く頂く事ができるようになります。さらに練習を重ねパフォーマンスを続けていた私は、昨年の九月に日本人招待選手としてインドネシアで開催された国際大会に出場しました。そこにはアジア各国の強者が集い、間近で彼らの新鮮な技を見る事ができました。私は高校時代と共に過ごし、共に挫折を経験したチームメンバーと二人で一部門に挑み、優勝となりました。その後、長年続けてきたサッカーを諦めなければならぬ状況に陥りました。自然豊かな素晴らしい環境や、日々切磋琢磨でくる仲間に恵まれ充実した学生生活を送ることができ、時間の経過がとても早く感じます。

さて、私たちには一日二十四時間という時間が全員平等に与えられており、これを一年間に換算すると、八七六〇時間になります。ところで皆さん、世界中で「九十分に一人」の割合で、毎年三十万人以上の人々がその尊い命を溺水によって失っているといふことを知っているでしょうか。

私は、小学生の頃から地元、伊豆半島、熱川YOUN湯ビーチを拠点として「ライフセービング活動」を生活の一部として継続しており、今年で十年目を迎えました。「ライフセービング」とは、命救助を本旨とした社会的活動であり、一般的には水辺の事故防止のための活動として普及・発展しています。ライフセービング活動は様々ですが、大きな目的は一つ、それは「水辺の事故をゼロにすること」です。

私は、ひとりのライフセーバーとして、今後二年間で必ず達成したい目標があります。それは、日本大学三島キャンパスがある三島市を中心に水辺の楽しさと危険を一人でも多くの人に知つてもらうことです。三島市には海岸はありますが、水が豊富な街であり多くの河川があります。夏になると多くの子供達や、静岡県を訪れた観光客の方々が、とても楽しそうに水辺での時間を過ごしている光景をよく目にします。そ



「命の大切さ」
日馬孝昌

短期大学部ビジネス教養学科二年

競うその姿を見て、「これならできる」という考えが私の中に生まれました。あまり知られておらず、競技人口も決して多いとは言えません。一度は挫折を味わったものの、結果を掴み取りました。それまでの努力が報われた瞬間で、「やつてやつたぞ」という気持ちが強かったです。私がフリースタイルフットボールを通じて学ぶことができたのは「人との繋がり」と「人間のみ作り出せる感動」です。多くの人がから多くの事を学び、様々な人と触れ合うことで私は成長してきました。今後も人の感性に語りかけられるようなパフォーマンスを披露し、フリースタイルフットボールの普及にも力を入れていきたいと考えています。

各団体代表者

「文化会」



本間航

校友会の皆様におかれましては、ご健勝のことと慶び申し上げます。私が日本大学国際関係学部に入学し、まだ一年半も経過していませんが、この一年半は大学以前の十二年の学業生活を遥か

の様な素晴らしい環境の中で、悲しい事故をゼロにする為にも、三島市を中心につくさんの方々にライフセービングの知識を広げていきたと考へています。次に、もう一つ、私が積極的に取り組んでいるのが「ライフセービングスポーツの発展」です。ライフセービング競技」というものが想定した技術を競う「ライフセービング競技」というものがあります。他のスポーツとの相違点は、「ゴールの先に救う生命があること」です。私は諸事情により、競技者としては引退し、現在は競技会運営側として全国各地のライフセービング競技会に参戻させて頂いております。最後になりますが、校友会優秀賞という素晴らしい賞を頂いた事を誇りに、今後も、ライフセービングとして「水辺の事故ゼロ」を目標に、多くの人に「生命の大切さ」を伝えていきます。

に越える濃密な時間であったと感じます。その間私は多くの挑戦と失敗を繰り返してきましたが、そのどれもが今の私を形作る糧となっています。

私にとって最初の大きな出来事は、日本語教師という職業に出会ったことです。入学後、漫然とした学生生活を送るはずだったのですが、天啓を得た思いであります。私は、天啓を得た思いで日本語教員養成プログラムに参加しました。もとより漠然と海外で働きたいと考えておりました。しかし、日本語教員になるという指針ができたことにより私の世界は一気に広がり、また新たに挑戦することへの喜びを得たようになります。それ以後私の興味は留まることを知らず、哲学、宗教、国際関係においては自ら図書館へ赴き関連書籍を手に取ることも度々となくありました。このようにことは学問に興味の無かつた大学以前の学業生活においては考えられないことでありました。また趣味の面でも新たにいくつかの事柄が加わりました。一つは小説の執筆です。これは読んでもうというよりは自らの考えを文字に起こすことで整理する目的がありますが、これが中々に楽しく今も細々と続けております。

私が日本大学国際関係学部に入学し三年目の夏を迎えるました。私は高校生の時に、アメリカンフットボールを始め、大学に入つても続ける予定でした。入学をし、アメフト部にも入部できたので一度しか行っておりませんが、どちらも私の可能性を広げる一助となつたことは間違ひありません。そんな充実した一年間を経て、現在は模擬国連というサークルで人を引っ張る立場となり、日本

国際教養学科三年

表 谷 健 斗



「体育会」

語教員に関しては「アニメ・マンガを用いた日本語教育」をテーマに少しずつですが研究を始め、学会にもいくつか参加させていたがだきました。こうして改めてこれまでの大学生活を振り返ってみると、思いの外、文化会会長らしいことができているのではないかと我ながら関心しております。右も左も分からぬままに就いた役職ではありますが、責任が伴う一方で相応のやりがいを感じつかれませんが、自らの成長と本学部発展のために目標に向けて日々邁進していく所存です。

先の二年半がどのようになるのか皆目見当もつきませんが、自らの成長と本学部発展のために、目標に向けて日々邁進していく所存です。

私は大學生が選手四人が一齊に退部を申し出できました。私は大事な大学生活を無駄にはして欲しくないので、やりたい事があるのであればそちらに時間を割くべきだという考え方から、退部を受け入れました。この決断は私、そして部にとって良かたのかは分かりません。一年生が抜けた事で、残された私たち三年生は人数不足により秋のリーグ戦出場を辞退させて頂く事になりました。このような事になってしまつたのは、私の部長二年目という年の緩みであつたと強く責任を感じております。

現在、廃部の危機にまで陥つたのでどのようにして存続させるかを考えました。来年度の新入生で続いていることに驚いておりました。去年は旅行とダイビングも経験しました。こちらは費用も重く、ダイビングに至つては一度しか行っておりませんが、どちらも私の可能性を広げる一助となつたことは間違ひありません。そんな充実した一年間を経て、現在は模擬国連というサークルで人を引っ張る立場となり、日本

語教員に関しては「アニメ・マンガを用いた日本語教育」をテーマに少しずつですが研究を始め、学会にも分からぬままに就いた役職ではありますが、右も左も分からぬままに就いた役職ではありますが、責任が伴う一方で相応のやりがいを感じつかれませんが、自らの成長と本学部発展のために、目標に向けて日々邁進していく所存です。

「富桜祭」



国際総合政策学科三年 井 上 悅 嗣



で、名譽な事であり私にしか経験できない事であるので、皆様に感謝をし、残りの任期を務めさせていただきます。今後も、体育会を宜しくお願い致します。

私は大學生が選手四人が一齊に退部を申し出できました。私は大事な大学生活を無駄にはして欲しくないので、やりたい事があるのであればそちらに時間を割くべきだという考え方から、退部を受け入れました。この決断は私、そして部にとって良かたのかは分かりません。一年生が抜けた事で、残された私たち三年生は人数不足により秋のリーグ戦出場を辞退させて頂く事になりました。このような事になつてしまつたのは、私の部長二年目という年の緩みであつたと強く責任を感じております。

現在、廃部の危機にまで陥つたのでどのようにして存続させるかを考えました。来年度の新入生で続いていることに驚いておりました。去年は旅行とダイビングも経験しました。こちらは費用も重く、ダイビングに至つては一度しか行っておりませんが、どちらも私の可能性を広げる一助となつたことは間違ひありません。そんな充実した一年間を経て、現在は模擬国連というサークルで人を引っ張る立場となり、日本

平成30年度 事業報告

- 1 国際関係学部校友会会長賞等授与
平成30年度日本大学国際関係学部在学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。
・校友会会長賞(副賞:奨励金)は、国際関係学部3名に贈られ平成31年3月25日の卒業式当日ホテルメトロポリタンエンドモンドにおいて授与式が行われた。
・校友会優秀賞(副賞:奨励金)は、国際関係学部2名及び短期大学部1名に贈られ平成31年3月25日の卒業式当日ホテルメトロポリタンエンドモンドにおいて授与式が行われた。
・校友会優秀賞(副賞:奨学金)は、国際関係学部3名及び短期大学部1名に贈られ令和元年7月18日の令和元年度日本大学特待生並びに奨学生の証書授与式当日校舎1.5号館多目的教室において授与式が行われた。
- | | | |
|-----------------|--------------------|----------------------|
| ①校友会会長賞(副賞:奨励金) | (国際総合政策学科4年) 上原 隼人 | (国際教養学科4年) 松岡 慶樹 |
| | (国際総合政策学科4年) 鈴木 彩音 | |
| ②校友会優秀賞(副賞:奨励金) | (国際総合政策学科4年) 小澤 拓馬 | (国際総合政策学科4年) 今野 大喜 |
| | (短大食物栄養学科2年) 原田 夏実 | |
| ③校友会優秀賞(副賞:奨学金) | (国際総合政策学科2年) 桂川 有人 | (国際総合政策学科1年) 星川 ひなの |
| | (国際教養学科2年) 山下 鉄平 | (短大ビジネス教養学科1年) 日馬 孝昌 |
- 1 スマホ・携帯ストラップ
950個を平成30年4月大学院及び国際関係学部並びに短期大学部(三島)各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。
- 1 会報発行
会報49号を平成30年9月1日付け22頁 20,700部を発行した。
- 1 各事業に対する補助
①国際同窓会・桜祭会及び山形県支部に対する補助
②大学の体育会に対する補助
③箱根駅伝応援に対する補助
④就職合同面接会に対する補助
- 1 常任幹事会
平成30年6月2日(土) 16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。
- 1 幹事会
平成30年6月3日(土) 17時10分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。
- 1 総会並びに懇親会
平成30年6月30日(土) 16時から、みしまプラザホテルにおいて開催した。
- 1 国際校友会公式WEBサイト更新
平成30年4月から公式WEBSITE(ホームページ)に年間15回に渡り校友会行事を写真集として更新した。
- 1 就職合同面接会
平成30年8月3日(金) 13時から17時まで、国際関係学部三島駅北口校舎6階に於いて国際関係学部・短期大学部の卒業予定者に対する就職支援の一環とした合同面接会を開催した。
(参加企業 27社: 参加学生 17名: 内定者 2名)
- 1 富桜祭物産展参加
平成30年10月27日(土)~28日(日)両日に開催された第68回富桜祭に校舎15号館1階スタディエリアの一部を使用して校友会主催による地元特産物等の販売をした。
- 1 ホームカーニングデー開催
平成30年8月15日(木)16時から20時まで佐藤塾(本町交差点)にて日大三島高校同窓会三島支部との共催による『三島大祭りバージョン』を国際関係学部・短期大学部(三島)及び日大三島高校卒業生並びに法・文理・経済・商学部修業行で三島大祭り見学者を対象として開催し63名の参加者となった。
- 1 平成30年10月27日(土) 11時から15時まで校舎13号館2階講師室にて開催した。当日は富桜祭を見学に来校した国際関係学部・短期大学部(三島)卒業生・在学生並びに法・文理・経済・商学部修業行11名の参加者となつた。
- 1 銀杏並木歩道清掃作業
本校金西側(県道21号線)歩道両側の清掃作業を実施した。ボランティア活動の一環として毎月第4日曜日の午前9時から約1時間、銀杏並木南側歩道橋附近から北側幸原町交差点までの両側歩道植え込み清掃を4月28日を本年度第1回目として12回実施し、参加者は校友会会員に加えレディース桜門会並びに日大三島高校生徒等105名が参加した。

平成30年度 収支決算書 (平成30年4月1日~平成31年3月31日) (単位:円)

支出の部				収入の部			
項目	予算額	決算額	差額	項目	予算額	決算額	差額
奨学費	500,000	380,000	120,000	会費収入	13,400,000	13,246,000	154,000
校友会報発行費	680,000	813,240	△ 133,240	雑収入	800,000	1,098,669	△ 298,669
各科同窓会等補助	400,000	135,000	265,000				
学生団体補助	800,000	483,600	316,400				
総会並びに懇親会費	1,200,000	1,522,524	△ 322,524				
箱根駅伝応援補助	920,000	610,264	309,736				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
入学記念品費	400,000	475,200	△ 75,200				
卒業記念品費	1,800,000	1,500,000	300,000				
会議会合費	300,000	238,584	61,416				
通信運搬費	2,000,000	2,124,892	△ 124,892				
ホームページ運営費	400,000	397,440	2,560				
事務費	1,700,000	1,541,329	158,671				
会員名簿作成費	100,000	0	100,000				
就職合同面接会運営費	500,000	477,617	22,383				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0				
雑費	800,000	812,447	△ 12,447				
国際関係学部校友会奨学金支援基金	250,000	250,000	0				
予備費	100,000	0	100,000				
計	13,420,000	12,332,137	1,087,863	計	14,200,000	14,344,669	△ 144,669
基金额	300,000	300,000	0	基金额	0	0	0
次年度繰越金(繰越金)	31,834,269	33,066,801	△ 1,232,532	前年度繰越金	31,354,269	31,354,269	0
支出の部合計	45,554,269	45,698,938	△ 144,669	収入の部合計	45,554,269	45,698,938	△ 144,669

貸借対照表 (平成30年3月31日現在) (単位:円)

借方		貸方	
項目	金額	項目	金額
普通預金	48,066,801	基金	20,040,000
定期預金	5,040,000	前年度繰越金	19,740,000
		本年度繰入額	300,000
		本年度繰出額	0
		次年度繰越金	33,066,801
合計	53,106,801	合計	33,066,801

基金の内訳 (単位:円)

項目	前年度繰越額	本年度繰入額	本年度繰出額	合計
基金	19,740,000	300,000	0	20,040,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,580,000	100,000	0	6,680,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,580,000	100,000	0	6,680,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,580,000	100,000	0	6,680,000
計	19,740,000	300,000	0	20,040,000

平成30年度収支について関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他の正確であることを認めます。

平成31年4月26日

会計監査 藤本文彦㊞
会計監査 木村貴美和㊞

令和元年度 事業計画

- 1 国際関係学部校友会会长賞等授与（副賞：奨励金もしくは奨学生）
 日本大学国際関係学部及び短期大学部（三島校舎）令和2年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。
 ・校友会会長賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 3名
 ・校友会優秀賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 4名
 短期大学部（専攻科含む） 2年卒業予定者 2名
 ・校友会優秀賞並びに奨学生 国際関係学部 2・3年生在学生 4名
 短期大学部（専攻科含む） 1年生在学生 2名
- 1 スマホ・携帯ストラップ
 850個を製作し平成31年4月大学院及び国際関係学部並びに短期大学部（三島校舎）各学科及び専攻科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行
 会報50号（令和元年9月1日付）22頁 20,400部発行予定。
- 1 各事業に対する補助
 ①各科同窓会及び支部に対する補助
 ②大学体育会・文化会に対する補助
 ③箱根駅伝応援（予選会含む）に対する補助
 ④就職合同面接会に対する補助
- 1 常任幹事会
 令和元年6月1日（土）16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館において開催する。
- 1 幹事会
 令和元年6月1日（土）17時15分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館において開催する。
- 1 総会並びに懇親会
 令和元年7月27日（土）15時30分からから、みしまプラザホテルにおいて開催する。
- 1 国際校友会公式WEBサイト更新
 年間行事を写真集として更新する。
- 1 就職合同面接会
 令和元年8月2日（金）国際関係学部三島駅北口校舎に於いて国際関係学部・短期大学部の令和1年度卒業予定者等を対象とした主に県内本学出身代表者企業参加による合同面接会を開催する。
- 1 箱根駅伝予選会応援
 令和元年10月26日（土）国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援する。
- 1 富桜祭物産展参加
 令和元年10月26日（土）27日（日）に開催される第69回富桜祭に校舎15号館1階スタディエリアの一部を使用して10時から16時まで校友会主催による地元特産物等の販売に参加する。
- 1 ホームカミングデー開催
 令和元年8月15日（木）16時から20時まで佐藤塾（本町交差点）にて日大三島高校同窓会三島支部との共催による「三島大祭りバージョン」を国際関係学部・短期大学部（三島）及び日大三島高校卒業生並びに法・文理・経済・商学部移行生を対象として開催する。
- 1 箱根駅伝応援
 令和2年1月3日（金）復路スタート応援地点で応援する。また、令和2年1月2日（木）往路ゴール応援地点及び令和2年1月3日（金）復路スタート応援地点で国際関係学部チアーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加する。
- 1 銀杏並木歩道清掃作業
 ボランティア活動の一環として、本校舎西側（県道21号線）歩道両側の清掃作業を実施する。
 実施日は毎月第4日曜日午前9時から約1時間とする。

令和元年度 収支予算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位:円)

支出の部				収入の部			
項目	本年度予算額	前年度予算額	差額	項目	本年度予算額	前年度予算額	差額
奨学費	390,000	500,000	△ 110,000	会費収入	13,500,000	13,400,000	100,000
校友会報発行費	820,000	680,000	140,000	雑収入	780,000	800,000	△ 20,000
各科支部等補助	300,000	400,000	△ 100,000				
学生団体補助	800,000	800,000	0				
総会並びに懇親会費	1,200,000	1,200,000	0				
箱根駅伝応援等補助	920,000	920,000	0				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
入学記念品費	500,000	400,000	100,000				
卒業記念品費	1,500,000	1,800,000	△ 300,000				
会議会合費	300,000	300,000	0				
通信運搬費	2,000,000	2,000,000	0				
ホームページ運営費	400,000	400,000	0				
事務費	1,600,000	1,700,000	△ 100,000				
会員名簿作成管理費	100,000	100,000	0				
就職合同面接会運営費	480,000	500,000	△ 20,000				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0				
雑費	800,000	800,000	0				
国際関係学部校友会奨学生支援基金	250,000	250,000	0				
予備費	100,000	100,000	0				
計	13,030,000	13,420,000	△ 390,000	計	14,280,000	14,200,000	80,000
基金繰入額	300,000	300,000	0	基金繰出額	0	0	0
次年度繰越金（繰越金）	34,016,801	31,834,269	2,182,532	前年度繰越金	33,066,801	31,354,269	1,712,532
支出の部合計	47,346,801	45,554,269	1,792,532	収入の部合計	47,346,801	45,554,269	1,792,532

基金の内訳

(単位:円)

項目	前年度繰越額	本年度繰入額	本年度繰出額	合計
基 金	20,040,000	300,000	0	20,340,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,680,000	100,000	0	6,780,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,680,000	100,000	0	6,780,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,680,000	100,000	0	6,780,000
計	20,040,000	300,000	0	20,340,000

令和元年度役員

任期(H30.4.1 ~R03.3.31)

役	職	氏	名(在学年度)	役	職	氏	名(在学年度)	役	職	氏	名(在学年度)
教 幹	養	甲田 知由	(33)	会 副 幹	長	横山 雅人	(56~59)	顧 顧	問	柴田 正	(41·42)
幹	事	吉野 洋一	(35)	會 副 幹	長	宮下 公雄	(54~57)	問	問	小早川 隆義	(42·43)
幹	事	鈴木 肇	(35)	會 副 幹	長	濱田 義之	(45)	顧	問	相田 信次	(44·45)
幹	事	御供 政紀	(35·36)	會 副 幹	長	山田 浩子	(41·42)	顧	問	野中 美香	(55·56)
幹	事	小澤 文郎	(36)	會 副 幹	長	江本 博勝	(46·47)				
幹	事	坂口 正剛	(37)	會 副 幹	長	平澤佳代子	(58·59)	參 參	與	渡辺 洋子	(35·36)
幹	事	小石川宣照	(37)	會 幹 幹	事 幹 幹	弓場 重明	(44·45)	與	岩崎 一雄	(43·44)	
幹	事	遠藤日出夫	(37)	幹 幹 幹	事 幹 幹	幹事長	田中 由雄	(42·43)			
幹	事	渡辺博夫	(37)	常任幹事 (庶務担当)	関野 幹雄	(48·49)					
幹	事	両角 勇	(42)	常任幹事 (庶務担当)	閻野 浩二	(57~60)					
幹	事	江川 洋	(42)	常任幹事 (庶務担当)	對木 智宏	(62·63)					
幹	事	林田 孝二	(43)	常任幹事 (会計担当)	山瀬 匠	(08·09)					
幹	事	藤幡 俊量	(46)	常任幹事 (会計担当)	塙谷 典子	(56~59)					
幹	事	高藤 省三	(49)	常任幹事 (会計担当)	市川 紀子	(35·36)					
幹	事	野村 誠子	(46)	常任幹事	伊奈 敏文	(39·40)					
幹	事	瀧本 博	(53)	常任幹事	染谷 徳昭	(42·43)					
幹	事	中川 一	(56)	常任幹事	山口 良児	(43·44)					
桜文会											
幹	事	隅田やす代	(43·44)	常任幹事	平岩美知子	(44·45)					
幹	事	野村 恭子	(44·45)	常任幹事	久保田博明	(45·46)					
幹	事	園田 正子	(45·46)	常任幹事	遠藤 晶子	(44·45)					
幹	事	小永井京子	(46·47)	常任幹事	早川 清文	(45·46)					
幹	事	内田 恵子	(51·52)	常任幹事	西野 和衛	(46·47)					
幹	事	高橋真理子	(51·52)	常任幹事	瀬川 宏	(47·48)					
幹	事	関野 啓子	(51·52)	常任幹事	神戸 絹代	(47·48)					
幹	事	中野利庸子	(52·53)	常任幹事	多田 清吾	(47·48)					
幹	事	榎本 瞳美	(52·53)	常任幹事	鈴木 允	(48)					
幹	事	杉浦美恵子	(53·54)	常任幹事	露木ひろみ	(52·53)					
幹	事	石井千枝子	(55·56)	常任幹事	松原 裕二	(54~57)					
幹	事	高橋 令子	(56·57)	常任幹事	勝亦 純代	(56·57)					
幹	事	西島 節子	(56·57)	常任幹事	西田 昭子	(57·58)					
幹	事	疋田 仁美	(57·58)	常任幹事	高野 誠	(57~60)					
幹	事	沼上 博美	(48·49)	常任幹事	勝又 義博	(57~60)					
幹	事	小林美佐枝	(49·50)	常任幹事	久保和之	(63·01)					
幹	事	田邊 尚美	(50·51)	常任幹事	久保田裕子	(01·02)					
幹	事	前川 和代	(50·51)	常任幹事	藤澤 博隆	(03·04)					
幹	事	松村 啓子	(51·52)	常任幹事	渡邊 孝哉	(09·10)					
幹	事	諫訪部昭子	(51·52)	常任幹事	深澤ほの香	(23~26)					
幹	事	斎藤千鶴子	(51·52)	常任幹事	日吉 智	(25·26)					
幹	事	和田 律子	(51·52)	会計監査	藤本文彦	(52·53)					
幹	事	興野 智子	(51·52)	会計監査	木村貴美和	(55~58)					
幹	事	佐野 有美	(51·52)								
幹	事	大塚 久子	(51·52)								
幹	事	瀬川 晶子	(51·52)								
幹	事	吉川しのぶ	(51·52)								
幹	事	山崎 潤子	(53·54)								
幹	事	田中真由美	(53·54)								

公式WEBサイト



URL <http://www.nu-ir-koyukai.jp/>

役	職	氏名(在学年度)
幹事	野田正人	(62・63)
幹事	田伏正和	(01・02)
幹事	名雪しげみ	(01・02)
幹事	菅江 稔	(02・03)
幹事	明石知恵美	(02・03)
幹事	川原浩貴	(03・04)
幹事	小野和彥	(03・04)
幹事	今川高宏	(04・05)
幹事	町野智彦	(05・06)
幹事	池田昌史	(08・09)
幹事	成田伸行	(08・09)
桜栄会		
幹事	山口玲子	(34・35)
幹事	阿部麻子	(35・36)
幹事	木崎有里子	(35・36)
幹事	渡辺かよ子	(35・36)
幹事	板垣和代	(36・37)
幹事	佐野茂子	(36・37)
幹事	小泉陽子	(36・37)
幹事	中村満里子	(37・38)
幹事	川口裕子	(37・38)
幹事	米山日出子	(37・38)
幹事	金井美智子	(38・39)
幹事	小坂照子	(38・39)
幹事	塩谷まさよ	(38・39)
幹事	井原康恵	(38・39)
幹事	望月千登世	(38・39)
幹事	浅田義志子	(39・40)
幹事	秋山幸子	(39・40)
幹事	関口瑞	(39・40)
幹事	福尾つや子	(39・40)
幹事	神部文子	(39・40)
幹事	伊達伸子	(40・41)
幹事	高橋美鶴	(40・41)
幹事	石黒榮美子	(41・42)
幹事	鳥羽山資子	(41・42)
幹事	秋山悦子	(41・42)
幹事	渡辺あき子	(41・42)
幹事	嶋美也子	(41・42)
幹事	伊藝睦	(41・42)
幹事	駿藤春代	(42・43)
幹事	石原泰代	(42・43)
幹事	影山貴美枝	(43・44)
幹事	土屋時子	(43・44)
幹事	柴田敬子	(44・45)
幹事	川村千代子	(45・46)
幹事	辻緑	(45・46)
幹事	小林秀実	(45・46)
幹事	杉本清美	(46・47)
幹事	佐藤奈津美	(47・48)
幹事	鈴木佳津江	(47・48)
幹事	神田みづ子	(47・48)
幹事	勝又昌代	(48・49)
商経・一部		
幹事	長川あかね	(07・08)
幹事	野村奈央	(07・08)
幹事	野村美之	(07・08)
幹事	山崎幸恵	(08・09)
幹事	林隆子	(09・10)
幹事	藤本敦子	(09・10)
幹事	工藤美咲	(10・11)
商経・二部		
幹事	萩野谷肇	(41・42)
幹事	上田定義	(41・42)
幹事	向笠肇	(41・42)
幹事	加藤久貴	(46・47)
幹事	秋山稔明	(46・47)
幹事	海野順子	(46・47)
幹事	野田栄	(47・48)
幹事	辻本真由美	(51・52)
幹事	田代稔	(51・52)
幹事	大島裕二	(52・53)
幹事	岡田美喜子	(53・54)
幹事	吉川浩司	(54・55)
幹事	後藤幸江	(58・59)
幹事	齋藤みどり	(59・60)
幹事	長澤裕子	(59・60)
幹事	齋藤千春	(01・02)
幹事	南まり子	(03・04)
幹事	川口恭子	(04・05)
幹事	白川美保	(05・06)
幹事	小柴慶子	(06・07)
商経・二部		
幹事	渡辺勝	(38・39)
幹事	久保田勝	(38・39)
幹事	佐野勝己	(39・40)
幹事	土屋忠得	(40・41)
幹事	小澤義明	(46・47)
幹事	宮川守	(47・48)
幹事	西島典雄	(47・48)
幹事	小川正治	(49・50)
幹事	近藤芳治	(49・50)
幹事	津田正克	(50・51)
幹事	甲斐幸博	(51・52)
幹事	甲斐忠則	(51・52)
幹事	後藤善夫	(52・53)
幹事	加藤喜章	(53・54)
幹事	鈴木理平	(54・55)
幹事	内野祥司	(55・56)
幹事	守野敏也	(55・56)
幹事	山田良	(55・56)
幹事	鈴木明彦	(57・58)
幹事	杉山勝行	(57・58)
幹事	黒田文量	(59・60)
幹事	金城三十二	(59・60)
幹事	武井直子	(60・61)
幹事	土佐谷泰子	(61・62)
役		
幹事	足立俊子	(54・55)
幹事	原賀桂津世	(54・55)
幹事	武田裕美	(55・56)
幹事	名取厚子	(56・57)
幹事	北川早苗	(56・57)
幹事	山崎睦子	(57・58)
幹事	田中裕子	(57・58)
幹事	竹村峰加	(57・58)
幹事	高野直美	(58・59)
幹事	秋山恵子	(58・59)
幹事	佐野裕子	(58・59)
幹事	阿部昭子	(59・60)
幹事	鍵山美希	(59・60)
幹事	神田留美子	(60・61)
幹事	佐藤明美	(61・62)
幹事	後藤澄映	(61・62)
幹事	松繩和恵	(62・63)
幹事	内田美典	(62・63)
幹事	中川みどり	(62・63)
幹事	神戸一葉	(62・63)
幹事	白石忍	(63・01)
幹事	田邊久美子	(63・01)
幹事	伊藤芳枝	(63・01)
幹事	渡邊陽子	(01・02)
幹事	山本いづみ	(01・02)
幹事	犬塚久恵	(01・02)
幹事	鈴木みのり	(01・02)
幹事	関口葉子	(01・02)
幹事	石井三香子	(02・03)
幹事	藤森久美子	(02・03)
幹事	渡辺幸子	(02・03)
幹事	杉本宏子	(02・03)
幹事	稻葉美香	(02・03)
幹事	高鹿真弓	(03・04)
幹事	森川容子	(03・04)
幹事	秋山由紀	(03・04)
幹事	長瀬理恵子	(03・04)
幹事	北蘭実由貴	(03・04)
幹事	阿部衣子	(03・04)
幹事	川口文子	(03・04)
幹事	長田瑞紀	(04・05)
幹事	梅田敏江	(04・05)
幹事	大畠美代子	(04・05)
幹事	植松郁子	(05・06)
幹事	古川みどり	(05・06)
幹事	古屋美帆	(06・07)
幹事	長田弘子	(06・07)
幹事	波多野律子	(06・07)
幹事	齋藤文江	(06・07)
幹事	佐野真弓	(06・07)
幹事	稻田友美	(07・08)
幹事	橋本春佳	(07・08)
幹事	小林亜希	(07・08)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹事	佐野文美	(10・11)	幹事	田上順子	(62・63)	幹事	原康子	(48・49)
幹事	鞍本鮎美	(11・12)	幹事	山口美樹	(62・63)	幹事	杉澤道代	(48・49)
幹事	尾間裕仁	(11・12)	幹事	櫻田智栄美	(63・01)	幹事	碓井久美子	(49・50)
幹事	笠原奈津子	(11・12)	幹事	三宅理砂子	(63・01)	幹事	岩田智加子	(50・51)
幹事	宮田朋子	(11・12)	幹事	野上香	(63・01)	幹事	大沼めぐみ	(50・51)
幹事	鈴木典子	(12・13)	幹事	日吉美由紀	(63・01)	幹事	峰田富美子	(51・52)
幹事	篠原由佳	(12・13)	幹事	高梨いづみ	(63・01)	幹事	山口智佳子	(51・52)
幹事	赤川智海	(12・13)	幹事	勝俣千穂	(01・02)	幹事	堤令子	(52・53)
幹事	小出祐子	(12・13)	幹事	田村尚子	(01・02)	幹事	白井道代	(52・53)
幹事	峯松園美	(13・14)	幹事	杉村智恵	(01・02)	幹事	石橋治代	(52・53)
幹事	山田美穂	(13・14)	幹事	湯原里美	(01・02)	幹事	岩崎美浪	(52・53)
幹事	清水磨希子	(13・14)	幹事	市川智香	(02・03)	幹事	竹内厚子	(52・53)
幹事	高橋由実	(13・14)	幹事	岡本ゆう子	(02・03)	幹事	宮澤正江	(52・53)
幹事	米永寿子	(13・14)	幹事	羽田真理子	(02・03)	幹事	遠藤豊美	(52・53)
幹事	岩田直子	(14・15)	幹事	望月ゆりか	(03・04)	幹事	長谷川規子	(52・53)
幹事	大沼秋桜子	(14・15)	幹事	安田ひとみ	(03・04)	幹事	松川順子	(52・53)
幹事	高橋美絵子	(14・15)	幹事	西村直子	(03・04)	幹事	松崎光子	(52・53)
幹事	石渡麻史	(14・15)	幹事	宮本久美子	(03・04)	幹事	中澤小雪	(53・54)
幹事	服部直美	(14・15)	幹事	渡邊真理子	(03・04)	幹事	斎藤裕子	(53・54)
幹事	秋山絵操	(14・15)	幹事	小澤知子	(04・05)	幹事	長田智子	(53・54)
幹事	山田真理子	(14・15)	幹事	出口幸子	(04・05)	幹事	押見恵美子	(53・54)
幹事	小野順子	(14・15)	幹事	井上雅代	(04・05)	幹事	船石圭子	(53・54)
幹事	栗田裕子	(15・16)	幹事	西岡かおり	(04・05)	幹事	四條里美	(53・54)
幹事	河原崎朱里	(15・16)	幹事	田村美保	(04・05)	幹事	鷺巣かほる	(53・54)
幹事	平澤怜子	(15・16)	幹事	岩下志保	(05・06)	幹事	藤原和美	(54・55)
幹事	田村美沙子	(15・16)	幹事	関屋園子	(05・06)	幹事	原田純子	(54・55)
幹事	植松明菜	(15・16)	幹事	渡邊千史	(05・06)	幹事	池谷美津子	(54・55)
幹事	荻島宏予	(15・16)	幹事	川口由美子	(05・06)	幹事	中澤由利子	(54・55)
幹事	渡邊裕未	(15・16)	幹事	池谷尚美	(05・06)	幹事	佐伯絵里子	(54・55)
幹事	荒井沙織	(15・16)	幹事	中村理恵子	(05・06)	幹事	伊藤若菜	(54・55)
幹事	宇野浩吏	(16・17)	幹事	遠藤理愛	(05・06)	幹事	吉田麻理子	(55・56)
幹事	星野成幸	(16・17)	幹事	神尾かほり	(06・07)	幹事	藤田建江	(56・57)
幹事	渡邊尚	(16・17)	幹事	田中里都美	(06・07)	幹事	小澤里佳子	(56・57)
幹事	松島佳奈子	(16・17)	幹事	鈴木寛子	(06・07)	幹事	深津久美子	(56・57)
幹事	中西麻純	(16・17)	幹事	山本静香	(06・07)	幹事	石谷美智子	(57・58)
幹事	増島清美	(16・17)	幹事	佐藤純子	(06・07)	幹事	田中恵子	(57・58)
幹事	萩原美香	(16・17)	幹事	三須洋美	(06・07)	幹事	嶋由樹子	(57・58)
幹事	平川綾乃	(16・17)	幹事	齊藤真由美	(07・08)	幹事	鈴木江利子	(57・58)
幹事	綾部久美子	(16・17)	幹事	和泉久美	(07・08)	幹事	鈴木敦子	(58・59)
幹事	桑山理沙	(16・17)	幹事	小野澤美和	(07・08)	幹事	武藤さゆり	(58・59)
幹事	飯田泰恵	(17・18)	幹事	小林世以子	(07・08)	幹事	荻沢洋子	(58・59)
幹事	石川裕里佳	(17・18)	幹事	中林香子	(07・08)	幹事	山田明子	(58・59)
幹事	田中沙季	(17・18)	幹事	水谷鯉恵	(07・08)	幹事	鈴木佳乃	(59・60)
幹事	堀田裕貴	(17・18)	幹事	横田忍	(07・08)	幹事	中條朝子	(59・60)
幹事	隅田優美	(17・18)	幹事	中橋智子	(08・09)	幹事	加藤容子	(59・60)
幹事	岩代美貴	(18・19)	幹事	神戸亜里沙	(08・09)	幹事	清水佳乃	(59・60)
幹事	加藤未奈	(18・19)	幹事	兼房はな	(08・09)	幹事	稻葉桂子	(60・61)
幹事	澤谷友香里	(18・19)	幹事	石崎由香	(08・09)	幹事	藤井由紀子	(60・61)
幹事	豊田彩香	(18・19)	幹事	佐藤美幸	(09・10)	幹事	穂谷野弥生	(60・61)
幹事	野口明日香	(18・19)	幹事	田村理絵	(09・10)	幹事	小島みちよ	(61・62)
幹事	藤井里奈	(18・19)	幹事	内田恵	(09・10)	幹事	久保玲華	(61・62)
幹事	松井志保美	(18・19)	幹事	渡邊明子	(09・10)	幹事	山下朋子	(61・62)
幹事	萬両美幸	(18・19)	幹事	植野敦子	(09・10)	幹事	鷺尾貴子	(62・63)

役	職	氏名(在学年度)
幹事	小松 徳弘	(56~59)
幹事	平野 雅之	(56~59)
幹事	福田 勝弘	(56~59)
幹事	宇田 隆康	(56~59)
幹事	山本 宏治	(57~60)
幹事	三浦 仁	(57~60)
幹事	森田 克彦	(58~61)
幹事	佐上 菊二	(58~61)
幹事	小塚 敏久	(58~61)
幹事	横溝 泰蔵	(59~62)
幹事	池尻 敏広	(59~62)
幹事	土田 洋二	(60~63)
幹事	桑原 健治	(60~63)
幹事	木俣かおり	(61~01)
幹事	増原 伸一	(61~01)
幹事	犬塚 重暁	(63~03)
幹事	野口 厚	(63~03)
幹事	藤田 隆	(63~03)
幹事	廣岡 達郎	(01~04)
幹事	齋藤 実	(01~04)
幹事	佐藤 淳悦	(01~04)
幹事	高橋 博樹	(01~04)
幹事	長谷川哲夫	(01~04)
幹事	村上 東洋男	(01~04)
幹事	須田 啓一郎	(01~04)
幹事	椿 昌寛	(01~04)
幹事	南 敦子	(02~05)
幹事	門脇 正明	(02~05)
幹事	藤原 誠吾	(02~05)
幹事	前田 智也	(02~05)
幹事	坂井 利彰	(02~05)
幹事	小田 純子	(02~05)
幹事	田辺 裕司	(02~05)
幹事	田松 正樹	(02~05)
幹事	西岡 昌仁	(02~05)
幹事	鎌田 文一	(02~05)
幹事	沼尻 正則	(03~06)
幹事	若松はるか	(03~06)
幹事	三宅 大介	(03~06)
幹事	清水 建	(03~06)
幹事	小塚 達郎	(03~06)
幹事	紅林 美智子	(03~07)
幹事	佐藤 治夫	(04~07)
幹事	千野 琢磨	(04~07)
幹事	渡辺 将之	(04~07)
幹事	杉山 文予	(05~08)
幹事	江島 照美	(05~08)
幹事	室伏 寛美	(05~08)
幹事	田尻 美三	(05~08)
幹事	青木 徹	(05~08)
幹事	大嶽 龍一	(05~08)
幹事	室伏 太郎	(05~08)
幹事	山田 瑞歩	(24~25)
幹事	山本 芽生	(24~25)
幹事	藤原 麗	(24~25)
幹事	満間 恵子	(24~25)
幹事	天野 真由香	(25~26)
幹事	恩田 剛弥	(25~26)
幹事	齊藤 花衣	(25~26)
幹事	中川 歩	(25~26)
幹事	駒形 亜海	(26~27)
幹事	中嶋 千里	(26~27)
幹事	大島 由樹	(26~27)
幹事	加藤 早織	(26~27)
幹事	高橋 美帆	(26~27)
幹事	宮澤 理紗	(26~27)
幹事	吉田まゆ子	(26~27)
幹事	長橋 侑希	(26~27)
幹事	橋本 華奈	(27~28)
幹事	鈴木 麻友	(27~28)
幹事	大箸 理沙	(27~28)
幹事	鈴木 瑠菜	(27~28)
幹事	福島 真由	(27~28)
幹事	西村 早織	(28~29)
幹事	渡部 もも	(28~29)
幹事	青木 小百合	(28~29)
幹事	新井はるか	(28~29)
幹事	原田 夏実	(29~30)
幹事	勝又 早菜	(29~30)
幹事	鈴木 美空	(29~30)
幹事	八木 勇紀	(29~30)
工科	宮下 正俊	(39~40)
幹事	菅沼 弘	(39~40)
幹事	土屋 貞明	(42~43)
幹事	渡辺 清	(42~43)
幹事	赤地 哲也	(42~43)
幹事	吉田 力	(44~45)
幹事	長倉 良幸	(44~45)
幹事	三枝 和彦	(46~47)
幹事	渡辺 昌宏	(46~47)
幹事	勝間田 太住	(47~48)
幹事	天野 寿一	(48~49)
幹事	上原 豊和	(52~53)
幹事	西家 勝彦	(52~53)
幹事	久保田 武生	(52~53)
幹事	埜村 光伸	(53~54)
幹事	勝呂 千明	(53~54)
幹事	鈴木 啓太郎	(54~55)
国際	川口 智彦	(54~57)
幹事	斎藤 聰	(54~57)
幹事	柳川 浩昭	(54~57)
幹事	高野 真一	(54~57)
幹事	諫訪部 健	(55~58)
幹事	福島 健嗣	(18~19)
幹事	秋山 海	(18~19)
幹事	廣江 亜佐美	(18~19)
幹事	富井 映里	(19~20)
幹事	中安 美咲	(19~20)
幹事	藤井 ゆりか	(19~20)
幹事	伊藤 靖子	(19~20)
幹事	三宅 ひとみ	(19~20)
幹事	青木 裕也	(20~21)
幹事	小林 可南子	(20~21)
幹事	石政 未希	(20~21)
幹事	岩井 友紀	(20~21)
幹事	澤木 心美	(20~21)
幹事	杉本 愛季	(20~21)
幹事	西原 萌恵	(20~21)
幹事	高橋 千恵	(20~21)
幹事	市川 佳夏子	(20~21)
幹事	青木 萌子	(21~22)
幹事	長田 知郁	(21~22)
幹事	清水 遥	(21~22)
幹事	時吉 結巳	(21~22)
幹事	湯山 菜名	(21~22)
幹事	矢田 さき	(21~22)
幹事	加藤 祥子	(21~22)
幹事	小見山 伊代	(21~22)
幹事	山下 あゆ	(21~22)
幹事	小嶋 絵梨花	(21~22)
幹事	桑原 里沙	(22~23)
幹事	小原 美妃子	(22~23)
幹事	塩谷 彰子	(22~23)
幹事	朝比奈涼子	(22~23)
幹事	篠原 莉那	(22~23)
幹事	奈良 彩夏	(22~23)
幹事	原賀 あかり	(22~23)
幹事	渡邊 愛菜	(22~23)
幹事	川久有 紀	(22~23)
幹事	鵜澤まゆか	(22~23)
幹事	江打 真衣	(23~24)
幹事	澤田 明日香	(23~24)
幹事	諸星 楓	(23~24)
幹事	朝日 健太	(23~24)
幹事	大木 史恩	(23~24)
幹事	鈴木 沙羅	(23~24)
幹事	田島 理瑛	(23~24)
幹事	深谷 正城	(23~24)
幹事	堀 佑美佳	(23~24)
幹事	守野 恭介	(23~24)
幹事	須藤 静香	(24~25)
幹事	田中 菜絵	(24~25)
幹事	石井 さくら	(24~25)
幹事	伊東 亜珠沙	(24~25)
幹事	杉山 亜梨沙	(24~25)
幹事	成田 安実里	(24~25)

役	職	氏名(在学年度)
幹事	張替祐介	(20~23)
幹事	山下昌志	(20~23)
幹事	本田怜央	(20~23)
幹事	小林訓史	(21~24)
幹事	白滝成美	(21~24)
幹事	茂木宏之	(21~24)
幹事	望月彩乃	(22~25)
幹事	松山直弘	(22~25)
幹事	大門由佳	(22~25)
幹事	石川雄大	(22~25)
幹事	牧野竜太郎	(23~26)
幹事	福岡泰祐	(23~26)
幹事	堀川未来夢	(23~26)
幹事	中尾光太郎	(24~27)
幹事	本間淳博	(24~27)
幹事	永田真希	(24~27)
幹事	佐野佑太	(24~27)
幹事	高橋義典	(24~27)
幹事	柿沼友哉	(24~27)
幹事	前原唯之介	(24~27)
幹事	秋間一樹	(25~28)
幹事	松原大輔	(25~28)
幹事	石川裕也	(25~28)
幹事	阿久津未来也	(25~28)
幹事	仲萌菜実	(26~29)
幹事	嘉代誠	(26~29)
幹事	坂本早穂	(26~29)
幹事	小野勇太	(26~29)
幹事	武藤航至	(26~29)
幹事	野間口健	(26~29)
幹事	山本大樹	(26~29)
幹事	橋本竜馬	(26~29)
幹事	田畠祐梨	(26~29)
幹事	井上和也	(26~29)
幹事	星野陸也	(27~30)
幹事	大澤和也	(27~30)
幹事	上原隼人	(27~30)
幹事	松岡慶樹	(27~30)
幹事	鈴木彩音	(27~30)
幹事	岡部星輝	(27~30)
幹事	小森聖也	(27~30)
幹事	大澤和也	(27~30)
幹事	小澤拓馬	(27~30)
幹事	今野大喜	(27~30)
幹事	浅野雄介	(13~16)
幹事	本多加奈	(13~16)
幹事	山本彩子	(13~16)
幹事	相見大輔	(13~16)
幹事	板橋紗綾香	(13~16)
幹事	武田泰弘	(13~16)
幹事	浅石友里子	(13~16)
幹事	渡邊頌子	(13~16)
幹事	河野奈津子	(14~17)
幹事	脇田千草	(14~17)
幹事	綱島昇	(14~17)
幹事	塚田泰章	(14~17)
幹事	杉町カウ工	(14~17)
幹事	小川淳	(14~17)
幹事	内村彩	(14~17)
幹事	渡邊賢治	(14~17)
幹事	井出知里	(15~18)
幹事	井所博志	(15~18)
幹事	小倉宏紀	(15~18)
幹事	宮腰治憲	(15~18)
幹事	田野口皓太	(15~18)
幹事	菅家奈都美	(15~18)
幹事	藁谷和正	(17~18)
幹事	岩井小百合	(16~19)
幹事	鈴木弘明	(16~19)
幹事	黒子佳恵	(16~19)
幹事	大森未奈子	(16~19)
幹事	笠倉諒	(16~19)
幹事	中山優貴	(17~20)
幹事	浅井啓悟	(17~20)
幹事	芹沢崇	(17~20)
幹事	関谷紀志	(17~20)
幹事	長谷川孝洋	(17~20)
幹事	勝呂孝	(17~20)
幹事	中島由人	(17~20)
幹事	笠原菜央子	(17~20)
幹事	古山結子	(17~20)
幹事	永野映吏可	(18~21)
幹事	勝又智子	(18~21)
幹事	西岡基	(18~21)
幹事	緒方義明	(18~21)
幹事	後藤奈津子	(18~21)
幹事	祭興斌	(18~21)
幹事	片柳健太	(18~21)
幹事	木佐木枝里	(18~21)
幹事	久保田真未	(19~22)
幹事	御所園智仁	(19~22)
幹事	阿部裕樹	(19~22)
幹事	橋本康弘	(20~23)
幹事	明石浩一	(05~09)
幹事	今川慶	(06~09)
幹事	田中智康	(06~09)
幹事	久芳仁	(06~09)
幹事	植松信二	(06~09)
幹事	小林寿成	(07~10)
幹事	斎藤美根子	(07~10)
幹事	纁纁健太郎	(07~10)
幹事	佐竹篤	(07~10)
幹事	川野梨恵	(07~10)
幹事	正木創一	(08~11)
幹事	井上善史	(08~11)
幹事	登ヶ谷祐人	(08~11)
幹事	金子浩二	(08~11)
幹事	内田修	(08~11)
幹事	成田哲浩	(09~12)
幹事	井上美由紀	(09~12)
幹事	井上明子	(09~12)
幹事	高塚瑞希	(09~12)
幹事	斎藤真規	(10~13)
幹事	長岡福也	(10~13)
幹事	筒井靖子	(10~13)
幹事	杉山祥啓	(10~13)
幹事	大津留真紀	(10~13)
幹事	大友仁美	(10~13)
幹事	佐野京子	(12·13)
幹事	鈴木亜希子	(12·13)
幹事	田崎郁子	(11~14)
幹事	土元夏葉	(11~14)
幹事	竹腰真裕子	(11~14)
幹事	後藤暢宏	(11~14)
幹事	竹村直	(11~14)
幹事	木下真由美	(11~14)
幹事	若月朋子	(11~14)
幹事	斎藤久美絵	(11~14)
幹事	川村友江	(11~14)
幹事	猪狩博織	(11~14)
幹事	山下政幸	(11~14)
幹事	鈴木さや夏	(13·14)
幹事	川下知恵	(12~15)
幹事	鹿内隼人	(12~15)
幹事	斎藤慎亮	(12~15)
幹事	山本克幸	(12~15)
幹事	拓植由美子	(12~15)
幹事	豊永有美子	(12~15)
幹事	原順子	(12~15)
幹事	小澤有礼	(12~15)
幹事	大野達男	(12~15)
幹事	太田孝一	(13~16)
幹事	山川利雄	(13~16)

「桜栄会の皆さんへ」



桜栄会会長

桜栄会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は家政科二十五期卒の平澤（旧姓角田）です。平成三十一年四月一日より、二十二期の野中様から会長を引き継がせていただきました。前会長の下では、大学祭での物産展のお手伝いや総会・講演会の準備運営などに携わり、人を動かす大変さを目の当たりにし、浅学の私に務まるかと心配しておられます。この任期中は、六十年を越える桜栄会の一員として諸先輩の方の築いてこられた活動を引き継ぎ、世代を繋ぐ橋渡しの時期と捉

いつも心に留めている言葉に
「和顔愛語・先意承問」がありま
す。和と協調の精神をもつて日々
努めて参りたいと思います。会員
の皆様のニーズを感じ、心の支え
えて い ます。

「食物栄養學科設立六〇周年」



日本大学短期大学部
食物栄養学科学科長

日本大学短期大学部桜栄会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、校友会、桜栄会の皆様方に、は私ども短期大学部（三島校舎）食物栄養学科・専攻科食物栄養専

かれるようになり、「家政専攻」が分離されます。一九九九年には「専攻科食物栄養専攻」が設置されました。これは後の「食物栄養専攻」を経て、現在の「専攻科食物栄養専攻」に改組されました。

成施設であり続ける以上、社会で役立つ栄養士・管理栄養士を一人でも多く輩出することが、私たちの責務と思っております。一人ひとりの学生を大切にし、個性を伸ばす教育を心がけるべく努めてお

「私の地域貢献活動」



日本大学短期大学部
食物栄養学科教授

日本大学短期大学部
食物栄養学科教授 石川元康

私は、一九九九年に着任し、今
年で二十周年になります。情報処
理や統計学といった理数系科目を
担当しており、二〇一四年からは
公衆衛生学も担当しております。
赴任当初は戸惑いの連続でしたが
今まで続けられているのは教職員
のみならず校友会の皆様のおかげ

攻に対し平素よりご厚情を賜り、
ご支援・ご協力いただいておりま
すことに深く感謝し、厚く御礼申
し上げます。本年六月下旬の豪雨
により被災されました会員の皆様
に対し、心よりお見舞い申し上げ
ます。

二〇〇〇年に「生活文化学科」（生活文化専攻）は廃止されました。二〇〇一年には「生活文化学科」（生活文化専攻）は「食物学科」に改称され現在に至ります。この間、一・二〇〇〇名を超える卒業生を輩出しております。近況として平成最後の卒業生に喜ばしいことがございました。今

ります。身近に栄養士・管理栄養士を目指している方がおられましたら、是非とも日本大学短期大学部・専攻科への進学をお薦めいただけますと光栄です。

でもあります。ここでは、私が行っている地域貢献活動をご紹介したいと思います。

大学には「教育」と「研究」という2つの大きな役割がありますが、近年では「地域貢献」なども加わって、多様な学びを提供する場となっています。地域貢献活動は、大学が地方公共団体や地元企業などと連携して様々な取組を開いていくことで地域発展に貢献し、この活動を学生教育に還元することで、学びのサイクルを作る目的としています。

皆様は「芝川海苔」をご存じでしょうか?多くの方は知らないか聞いたことはあるけれど食べたことがないと思います。これは、富士宮市の芝川流域に自生する淡水緑藻類「カワノリ」の地域名称で、富士宮地域の特産品ですが、収穫量が減り地元の人も食べる機会がない「幻の海苔」と呼ばれています。炭火で炙つて食べると香ばしく、口の中に甘みが広がる不思議な味がします。芝川ノリは、室町や江戸時代に献上された記録があり、食文化として古い歴史があります。私は、芝川ノリの生育環境を調べ、特產品として提供できるよう人工養殖の研究に取り組んでいます。この研究を始めたきっかけは、校友会の皆様のおかげでも

あります。二〇〇四年に本学科でも教鞭を執っていた安原健允名譽教授から引き継ぎ、翌二〇〇五年からは、校友会の方のご協力もあり富士宮市委託事業として調査研究を開始し、現在に至ります。

二〇一八年には、関連した研究が国 の科学研 究費助成事業に採択され、一層の研究成果を出すよう努力しています。

このように、大学も企業のCSR活動と同様に、地域社会への貢献が求められ、食物栄養学科では様々な活動を行っています。そ

れらを実施するにあたり、校友会の皆様が窓口となつている場合が多いです。この場をもつて感謝申し上げます。今後も微力ながら、地域の方々や校友会の皆様にお役に立てるよう、できる限り協力していく所存です。

最後に、本学と連携協定を結んでいる富士宮市では、食によるまちづくり「フレーバーリ構想」を立ちあげてから十五周年を迎え、記念イベントの食の祭典が、令和元年九月二十二日(日)に富士宮市宮のにぎわい広場(富士山本宮浅間神社そば)で開催される予定です。私が地域貢献活動の一環として行っている「芝川ノリ」研究の成果や大学案内を展示予定であり、富士宮市の特産品だけでなく、

交流都市である福井県小浜市、北海道帯広市、熊本県の特産品も出展される予定です。校友会会員の皆様も友人をお誘い合わせの上遊びに来ただけだと幸いです。

「新任」挨拶



日本大学短期大学部
食物栄養学科助教
柿崎博美

私は、幼少期より教員という職業に強い憧れを抱いておりました。が、この4月からいろいろなご縁と運が重なり、その夢を叶えることができました。私が教員になりたいと思ったきっかけは、尊敬する父が大学教員をしていたからです。あまり多くを語らず、穏やかで誠実な父の後ろ姿を見て、いつも心には父のようだと思いつつ、勉強を専攻してきましたが、私は物理

生物資源科学部で学位を取得しました。また、海道帯広市、熊本県の特産品も出展される予定です。校友会会員の皆様も友人をお誘い合わせの上遊びに来ただけだと幸いです。

い日々を過ごしてきました。また、休みの日には必ずといっていいほど父と釣りに行き、釣つてきたいろいろな魚を捌いて、和洋中の様々な調理法で栄養面や彩りなどを考えて料理し、食べ比べをするのが大好きでした。今思い返してみると、当時からなんでも食べてみたいという食に対する好奇心は人一倍旺盛であったように思います。それが、現在の食に関する研究へとつながっていると感じております。

私は、幼少期より教員という職業に強い憧れを抱いておりました。私が教員になりたいと思ったきっかけは、尊敬する父が大学教員をしていたからです。あまり多くを語らず、穏やかで誠実な父の後ろ姿を見て、いつも心には父のようだと思いつつ、勉強を専攻してきましたが、私は物理

生物資源科学部で学位を取得しました。また、海道帯広市、熊本県の特産品も出展される予定です。校友会会員の皆様も友人をお誘い合わせの上遊びに来ただけだと幸いです。

生物資源科学部で学位を取得しました。また、海道帯広市、熊本県の特産品も出展される予定です。校友会会員の皆様も友人をお誘い合わせの上遊びに来ただけだと幸いです。

生物資源科学部で学位を取得しました。また、海道帯広市、熊本県の特産品も出展される予定です。校友会会員の皆様も友人をお誘い合わせの上遊びに来ただけだと幸いです。

生物資源科学部で学位を取得しました。また、海道帯広市、熊本県の特産品も出展される予定です。校友会会員の皆様も友人をお誘い合わせの上遊びに来ただけだと幸いです。

「好きなものに
没頭できた、四年間」

初めての研究室に、不安や緊張もありましたが、先輩に教えてもらいまして、研究をスタートさせました。

忘れないでしょ。

く、栄養バランスのとれた献立を考え、人々の健康をサポートすることができる栄養士という職業に出会

りました。私はゼミ活動で幼児の栄養、児童に向けた食育などの研究を行っていたこともあり、将来は



專攻科 · 十八期

高橋
美帆

「食栄に出会えて良かった!」と私は卒業してから、何度もこのような気持ちになります。

それは私が、食物栄養学科・専攻科の四年間で自分の「好きなもの」に出会い、没頭し、密度の濃い「四六〇日を三島で過ごす」ことができたお陰です。この場をお借りし、私を支えてくださった先生方、友人、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

では、私が出会った「好きなもの」とは何だったのでしょうか? 紹介させていただきます。

平成二十六年の春、地元にある大学で興味のある「食・健康」が学べる学科と思い、この食物栄養学科に入学しました。私は小学生の頃から、将来健康に関わる仕事をしたら、と思っており、入学後は高校までとは全く違う食や健康に関する専門的な授業に面白さを感じたことを覚えています。また、短大2年より研究室配属が始まり、私はご縁があつて太田尚子教授の食品学研究室に入ることになりました。

析→データの解析→考察」という流れを、繰り返す中で、上手くいかないこともあります。そのようなとき、文献を漁るようにして読み、参考になる研究を探したり、太田先生と一時間近くディスカッションし、アドバイスをいただいたりして、何とか乗り越えていきました。そして、気が付けば、学士論文を書き終えると共に、学会発表や論文の受理まで進めることができました。このときの達成感は、生

「そういう思いはもちろん、フィルムの研究を続けたいという希望が強くあります。進学に迷いはありませんでした。しかし、好きな研究に出会えたからといって、苦しみがなかつたわけではありません。データを出すためには、「フィルム（サンプル）」の作製・分

いました。このフィルムは、食品用のラップのようなもので、現在メディアでも取り上げられるような脱プラスチックにも貢献できる可能性があります。さらに、この研究との出会いが私の「好きなもの」との出会いでもあり、結果的に四年間で特会に没頭したものとなりました。そのため短大から専攻科への進学の祭は、「米菴の日記」を採り、一

いう思いから、食生活の栄養学の学びを経て決めた進路でした。最後になりましたが、将来は健康に関する職に就きたいと考えており、人々の健康寿命の延伸に貢献することが、私の夢です。学生の皆さんには二年間もしくは四年間の中で、様々な経験を通して自らの適性を見つけていき、今後の人生の糧にしていただけたらと思います。

「充実した濃い二年間」

「充実した濃い一年間」



食物栄養学科・五十九期

鈴木美丸

私は、平成二十九年度に食物栄養学科に入学しました。私は幼い頃から食べること、料理やお菓子を作ることが大好きで、食についてとても関心を持っていました。将来の夢について考えたとき、食に携わる仕事をしたい、人々の役に立てる仕事がしたいと考えるようになります。料理を作つて提供するだけではな

てきた一年生の後期、同じ学部の友人から、国際関係学部の剣道部の見学に行こうと誘いを受けました。高校までずっと打ち込んできた剣道ですが、この忙しい短大生活では両立することが難しいと諦めていました。しかし、私と同じ想いをいたしました。

ため栄養士免許取得を目指せる
食物栄養学科に入学を決めました。
入学と同時に私を待っていたのは、慣れない土地での一人暮らし、実験室習業やレポートに追われる日々で、慣れるまでとても苦労しました。しかし、同じ目標に向かって歩み始めた仲間の存在があつたからこそ、この忙しい二年間を乗り越えることができたと思っています。

されており、あのとき必死に勉強して良かったと思っています。また短大時代にできた大切な友人部活の同期や先輩、後輩とは今でも交流があり、日大の食物栄養学科に来て良かったと心から思える、とても充実して濃い二年間を過ごしました。次の私の目標は、管理栄養士を目指すことです。実務を積んだらまた必死に勉強をして、次の目標を叶えられるようにこれからも頑張ります。

に慣れるまで苦労しましたが、患者様の治療の一環として、ひとつ間違えれば患者様の命に関わるかもしれないという緊張感を常に持ち日々の業務に取り組んでいます。

短大時代に学んだことは現在の仕事でも、日々の生活の中でも活かされています。

なかたため様々な施設での看護士業務を体験することができる季託給食会社に就職を決めました。残念ながら私が希望していた施設への配属は叶いませんでしたが、現在は病院に勤めています。病院では患者様の病態によって食種が異なり、食種別、食形態別に患者様への食事提供を行っています。患者様一人ひとりに合わせた細かな作業

日本大学短期大学部食物栄養学科創設60周年ならびに 専攻科食物栄養専攻創設20周年記念行事のご案内

本学食物栄養学科では、本年度学科創設60周年ならびに専攻科創設20周年を記念して、下記の要領で記念行事を開催いたします。当日は懐かしの先生方や助手さんも大勢出席されますので、1人でも多くの卒業生の皆さんにご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

開 催 日： 令和元年11月16日（土）

場 所： 日本大学国際関係学部・北口校舎（三島駅北口目の前）

内 容： 10:15～11:00 受付

11:00～11:45 記念式典および講演会（北口校舎1階 山田顕義ホール）

12:00～15:00 学科創設60周年記念祝賀会＆大同窓会（北口校舎7階 学食）

15:30～17:30 専攻科創設20周年記念祝賀会＆大同窓会（北口校舎7階 学食）

参 加 費： 6,000円（ただし平成27年3月以降の短大卒業生および平成29年3月以降の専攻科卒業生は3,000円）

参加申し込み： ご出席いただける方は、10月15日（火）までにe-mail, FAX, 電話のいずれかで下記宛てにご連絡下さい。

方法	宛先	備考
e-mail	shokuei60@gmail.com	①名前、②卒業年度、③メールアドレスもしくは電話番号の記載をお願い申し上げます。
FAX	055-980-0846	
TEL	055-980-0840	平日 9:00～18:00, 土曜日 9:00～13:00に受付を行なっております。

送 金 先： 10月31日（木）までに下記の口座宛てに参加費のお振り込みをお願いします。,

銀行名	静岡銀行
支店	三島駅北支店
口座番号	普通預金 0465429
備考	名前、卒業年度の記載をお願い申し上げます。 例：平成25年度卒業 日大花子 → 25 ニチダイハナコ

そ の 他： ①当日、会場内に託児所コーナーを設けますので、お子様連れで参加予定の方はその旨をお知らせください。料金は別途自己負担となります。詳細につきましては個別にご案内差し上げます。
②当日参加できない方でも本趣旨にご賛同いただける方は、一口5,000円（幾口でも結構です）として上記の口座までお振り込みいただけすると幸いです（後日記念品をお送りいたします）。
③本記念行事に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒411-8555 静岡県三島市文教町2丁目31番145号

日本大学短期大学部食物栄養学科 食物栄養研究室（代表幹事 上田龍太郎）

電話：055-980-0840

日本大学国際関係学部校友会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

(事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。

- 1 会報発行・会員名簿の作成
- 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
- 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
- 4 その他目的達成のために必要な諸事業

第3章 会 員

(会員構成)

第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部（三島校舎）・専攻科食物栄養専攻・国際関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に關係が深く功勞があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部・大学院国際関係研究科・短期大学部（三島校舎）の在学生をもって構成する。

- 2 特別会員・名誉会員並びに準会員は議決権は有しないものとする。

(会 費)

第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。

- 2 会費及び徴収方法は別に定める。
- 3 特別会員・名誉会員は会費を徴収しないものとする。

第4章 役 員

(役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

- 会 長 1名
副 会 長 若干名
幹 事 長 1名
常 任 幹 事 若干名
幹 事 若干名
会 計 監 査 2名

(顧問・参与)

第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。

- 2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

(役員の選出)

第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。

- 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会长或は在学した者の代表者とし会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 4 常任幹事は各科同窓会代表幹事とし、常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会議に報告するものとする。
- 5 幹事は国際関係学部校友会表彰者或は各科同窓会会长から推薦し、幹事会に報告するものとする。

(任 期)

第10条 各役員の任期は3年とし、再任は妨げない。ただし満80歳をもって定年とする。なお、期間は当該年度内とする。

- 2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。
- 3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

(役員の職務)

第11条 会長は本会を代表し会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
- 4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。
- 5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
- 6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。

なお、顧問・参与には役員に関する規定を準用する。

第5章 会 議

(会議及び議決方法)

第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。

2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。

3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代ることができる。

(会議の構成及び開催)

第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。

2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。

総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。

3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて隨時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。

4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。

幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。

5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。

(総会の審議)

第14条 総会は次の事項を審議し議決する。

2 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。

3 事業計画に関する事項。

4 予算・決算に関する事項。

5 会長の選任に関する事項。

6 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

第6章 支 部

(支部の設置)

第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。

2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

第7章 会 計

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

(会計監査)

第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

第8章 会 則

(会則変更)

第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

(会則の遵守)

第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

(施行細則)

第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

第9条 表 彰

(表彰)

第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。

2 卒業予定者及び在学生に対する会長賞等の表彰規定は別に定める。

第10章 除 名

(会員除名)

第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。

2 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。

3 校友会の秩序を乱したとき。

4 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。

付 則 本会則は平成23年8月1日より施行する。

日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・
東京都第六・東京都第七)
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(18部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際関係・危機管理・スポーツ科・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会

海外特別支部(9 支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク・インドネシア・ミャンマー

日本大学国際関係学部校友会組織図

国際関係学部校友会
(旧三島同窓会)

三島豫科
三島教養部
文理学部(三島)

短期大学部
桜文会(国文・英文)
商経科同窓会(1・2部・ビジネス教養)
桜栄会(栄養・家政・食栄・生活・専攻科)
工科同窓会(建築・機械)

国際関係学部同窓会